

まちの話題

ISA City Topics



おめでとうございます

「伊佐地区安全運転管理協議会及び伊佐警察署からの感謝状」

交通安全キャンペーンへの参加やイベントでの手作りクッキー配付などの活動に対し感謝状が送られました。



大口明光学園中学校・高等学校

「第4回スモールドラゴンボート日本選手権大会3位」

10月23日、びわこボートレース場で開催されたスモールドラゴンボート（12人艇）の全国大会で3位に輝きました。



選手権オープンの部3位 伊佐龍舟

「栄養関係功労者厚生労働大臣表彰」

長年の食生活改善事業の普及・向上に対し表彰を受けられました。

尾上さんは「市民の健康づくりのお手伝いを微力ながら頑張りたい」と語られました。



尾上芳子さん(水ノ手)

ロードミラー 100本を綺麗に



11月6日、針持駐在所連絡協議会と西太良地区防犯パトロール隊の18人が、曾木・針持校区のロードミラーなどの清掃をしました。地域の事故防止に役立てたいと清掃したロードミラーは100本以上にもなりました。ありがとうございます。

水曜日の憩いの場



10月26日、大口上町に「シルバーふれあいサロン」がオープンしました。これは伊佐市シルバー人材センターが運営するもので、高齢者をはじめ、さまざまな人が利用できる地域に密着した“憩いの場”として誕生しました。

お茶やコーヒー、お菓子などのメニューのほか、脳トレ体験もできます。営業日は毎週水曜日です。

英語で話そう



10月17日、牛尾小学校5・6年生が英語公開授業を受けました。体育館に設置された特設教室で、始良・伊佐地区をはじめとする県内約50人の小・中学校教諭に囲まれての授業でした。

児童たちは「Where do you want to go?(どこに行きたい?)」の質問から始まる会話に英語で挑戦しました。多くの見学者に囲まれ緊張した様子でしたが、ジェスチャーやゲームを取り入れた内容で英会話を楽しんでいました。

南三陸町長 来市



10月26日、今年も宮城県南三陸町の佐藤仁町長（写真左）が市長を訪問しました。東日本大震災の復興支援をきっかけに、南三陸町には今も職員派遣や市民による支援が続いています。

佐藤町長は、「宅地整備や住宅再建は目処がついた。これからまだ産業の再生をしていかなければ。」と復興の様子を伝えました。今も全国からの107人の派遣職員が南三陸町役場で復興に携わっており、今後も変わらぬ支援を要望されました。

また、この一年間に市内の6団体から寄せられた南三陸町への義援金を市長から手渡されました。

伊佐市からの派遣職員による連載記事「南三陸だより」（14ページ）もご覧ください。

大規模災害時の応援協定



市は、鹿児島県行政書士会と「大規模災害時等における相談業務等の応援に関する協定」を10月24日に締結しました。

これは、大規模災害の発生時に県行政書士会の会員が、市民からの住家被害などの相談に応じたり、さまざまな手続きの申請書類の作成や代理を行い、迅速な生活再建に協力するものです。

鎌田敬会長は「熊本地震の支援では整理のつかない状況を見てきた。交流を深めて様々な支援ができれば」と述べられました。

「消しましょう その火その時 その場所で」



秋季全国火災予防運動(11月9日～15日)の初日、市内の園児による幼年消防クラブが防火セレモニーとパレードを行いました。

大口ふれあいセンター前で開催されたセレモニーでは、紅洋保育園児の集団演技と大口里保育園児の「防火の誓い」の宣誓がありました。その後、それぞれの園の“まとい”や提灯を手に、およそ1kmの道のりを「火の用心」を呼び掛けながら元気よくパレードしました。

日本文化を楽しんで



10月28日、香港のホーリー・ファミリー・カノシアン・スクールの小学6年生が修学旅行の一環で、姉妹校である大口明光学園を訪れました。

香港の生徒たちは5つのグループに分かれて、おにぎり作り、茶道、書道、福笑いなどの正月遊び、踊りを大口明光学園の生徒から教わりながら体験しました。書道のグループでは、色紙に自分の名前を平仮名で書き、折り鶴を貼り付けた作品を作りました。

英語やジェスチャーでコミュニケーションを取りながら、日本文化を楽しむ交流ができたようでした。

昭40年大口中卒業生から寄附



大口中学校の昭和40年卒業生の代表24人が、10月21日、大口中央中学校を訪れ「学校のためにお使ください。」と寄附金を贈呈しました。

卒業生の皆さんは、桑鶴教頭から学校紹介や生徒の活躍の様子を聞いた後、在学当時の面影を探すように校舎の周囲を見て歩きました。

また皆さんは「いさ花募金」にもご寄附くださいました。ありがとうございます。

伊佐の魅力PRします



11月2日、伊佐市PRレディ・ボーイの委嘱状交付式がありました。

今年で2年目となる紫尾享平さんは「1年目は手探りのところがあったので、よりレベルアップしたPRができるよう頑張ります。」と抱負を述べました。

PRレディ・ボーイは来年10月31日までの任期中、市内外のイベントに参加したり、テレビ・新聞・ラジオ等でのPRを通して伊佐の魅力を発信していきます。

<写真左から>

山田麻子さん(星空の里)

紫尾享平さん(伊佐市役所)

橋口愛さん(伊佐市役所)

<丸枠内> 前田大二朗さん(大口園)